

# 新春のお慶びを 申し上げます



明けましておめでとうございます。本年も、よろしく願いいたします。

さて、全校児童や保護者の皆様にご協力いただいた教育診断アンケートの集計が終わりました。皆様からの貴重なご意見を、今後の指導に生かしていきます。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。なお、保護者の皆様からいただいたご意見は裏面に紹介させていただきます。アンケート結果と併せてご一読下さい。

【児童診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(児童の内容)	A	B	C	D	計	A+B	C+D
1	学校へ行くことが楽しい。	34	13	2	0	49	95.9%	4.1%
2	あいさつや返事がよくできる。	27	21	1	0	49	98.0%	2.0%
3	いじめをしないで、友達を大切にしている。	41	6	2	0	49	95.9%	4.1%
4	先生のお話や道徳の授業などを通して規則やルールを学んだり、命の大切さを学んだりすることができる。	45	4	0	0	49	100.0%	0.0%
5	授業は分かりやすく楽しい。	35	11	2	1	49	93.9%	6.1%
6	授業では、自分の意見や感想などをすすんで発表している。	26	20	2	1	49	93.9%	6.1%
7	授業では、友達の意見や感想をしっかり聞くようにしている。	41	7	1	0	49	98.0%	2.0%
8	授業の中でタブレットを使うなど、楽しく学習ができています。	47	2	0	0	49	100.0%	0.0%
9	図書室または家の本など、時間を見つけて読書している。	23	18	5	1	47	87.2%	12.8%
10	学校行事(学習発表会、全校体育)や委員会活動(4年生以上)には、意欲的に参加している。	38	9	0	0	47	100.0%	0.0%
11	掃除や奉仕活動(ギョギョランド清掃や青木川クリーン作戦、通学路清掃、学校環境美化活動など)には、すすんで取り組むことができる。	39	9	1	0	49	98.0%	2.0%
12	健康でたくましい体になるよう、体育の授業やかけ足訓練などの体育的活動にがんばって取り組んでいる。	44	4	0	0	48	100.0%	0.0%
13	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。	40	5	3	1	49	91.8%	8.2%
14	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。	41	7	1	0	49	98.0%	2.0%
15	私の気持ちや考え、がんばりを分かってくれる先生がいる。	35	12	2	0	49	95.9%	4.1%
計		556	148	22	4	730	96.4%	3.6%

【保護者診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(保護者の内容)	A	B	C	D	計	A+B	C+D
1	学校は、学校だより、校長だより、学級通信、ホームページ、各種行事、学校開放(授業参観)などを通して、教育活動の情報や学校の様子を知らせている。	39	8	0	1	48	97.9%	2.1%
2	学校は、保護者や地域の要望・願いに応えようと努めている。	27	20	1	0	48	97.9%	2.1%
3	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	29	12	7	0	48	85.4%	14.6%
4	子供は、すすんであいさつを行い、規則正しい生活をするように努めている。	25	20	3	0	48	93.8%	6.3%
5	学校は、防災学習や緑化活動、川遊びの会、青木川クリーン作戦など、特色ある教育活動を展開している。	36	12	0	0	48	100.0%	0.0%
6	学校は、全校体育や学習発表会など、保護者や地域の方と接する活動を行っている。	32	15	1	0	48	97.9%	2.1%
7	学校は、いじめアンケートの実施や道徳科の充実など、いじめの早期発見や対応に取り組み、命を大切にしたい思いやりのある学校づくりに努めている。	32	14	2	0	48	95.8%	4.2%
8	学校は、避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室、防災学習などを通して、防犯や交通安全、自然災害などへの対応に努めている。	35	12	1	0	48	97.9%	2.1%
9	学校は、道徳の授業、環境学習などを通して、豊かな心を育てようとしている。	35	11	2	0	48	95.8%	4.2%
10	学校は、タブレットの活用など子供たちが積極的に学習に取り組める工夫をし、確かな学力を身につかせようとしている。	25	22	1	0	48	97.9%	2.1%
11	学校は、体育の授業や部活動、かけ足訓練などを通して、自ら困難に立ち向かい、健やかにたくましく生きていくように、子供たちの体力向上に努めている。	33	14	1	0	48	97.9%	2.1%
12	学校は、主に算数や英語の授業で、複数の教師による指導を随時行うことで、一人一人に対してわかる授業づくりに努めている。	30	14	4	0	48	91.7%	8.3%
13	子供は、授業がわかりやすいと言っている。	24	21	1	2	48	93.8%	6.3%
14	教師は、子供の能力や意欲を適切に判断し、認めてくれている。	34	12	2	0	48	95.8%	4.2%
15	保護者は、子供のことについて、学校に相談できる。	32	14	1	1	48	95.8%	4.2%
計		468	221	27	4	720	95.7%	4.3%

#### ○データによる考察

児童のデータでは、「A評価+B評価」の合計割合がすべての項目で8割を超え、9割以上が大半を占めるといった結果となりました。同様に、保護者の皆様のデータでも、「A評価+B評価」の合計割合がすべての項目で8割を超え、9割以上が大半を占めています。このことから、児童の姿を通して、学校の教育姿勢が評価され、一定の成果を上げていると認められているものと判断します。

(裏面へ)

しかし、その中で、「A+B」の評価割合が他の項目より低かった以下の項目については、結果を厳しく受け止め、改善をしていけるよう努力いたします。

【児童の内容 設問9 「図書室または家の本など、時間を見つけて読書している」について】

本項目については、昨年度はC評価が1名だけであったにもかかわらず、本年度はC評価が5名、D評価が1名という結果となってしまいました。

これは、読書に対する意欲付けが十分にできなかったことが原因ではないかと考えます。意欲付けのための活動としては、例年と同様、前・後期にそれぞれ1回ずつ、図書委員会主催の読書週間を設け、読書の励行を行ってきました。しかし、特に本年度は秋に大きな行事がずれこんだ結果、行事が集中したことで、子供たちに継続的な読書習慣を定着させることができませんでした。また、コロナ禍において、お話図書館をはじめ、教師による読み聞かせなどの機会が減り、読書の楽しさを十分に伝えられなかったことも要因の一つであるように考えます。

読書は児童の創造性を豊かにしたり、様々な考えに触れて見識を広めたりする上で、大切な活動です。本年度の反省を生かし、朝の学習の時間の有効活用などを通して子供たちが読書に没頭できる時間が確保できるようにしていきたいと考えてます。

【保護者の内容 設問3 「子供は、学校に行くのを楽しみにしている」について】

本項目については、昨年度はC評価が1名だけであったにもかかわらず、本年度はC評価が7名という結果になってしまいました。同様に、児童に対して同様の内容を尋ねた設問1の回答を見ると、C評価が2名という結果で、これも昨年度の1名を上回る結果となりました。

当初、これは授業の内容が分かりにくいと感じる児童が増加したためと予想しましたが、保護者の内容 設問13に対する回答を見ると、「C評価+D評価」の合計割合は昨年度の10.6%から、本年度は6.3%へと減少しました。また、児童の内容10の回答が「A評価+B評価」が100%であることから、児童が学校行事等に意欲的に参加していることが読み取れました。このことから、学校に行くのがつまらないというよりも、児童にとって魅力的な活動が減ってしまったと解釈するのが正しいのではないかと考えました。コロナ禍の影響により、本校でも行事の縮小や延期、調理実習などの体験的な活動の中止などを余儀なくされています。今後はそれを改善するべく、「ウィズ・コロナ」の時代に合った行事や教育活動のあり方を模索し、これまで以上に魅力的な教育活動を展開できるようにしていきたいと考えます。

【上記以外の項目について】

児童の内容4では、「A評価+B評価」をつけた児童が100%という結果が出ました。本年度、力を入れて取り組んでいる「命の教育」が一定の成果を上げており、今後も継続していきたいと考えます。また、同じく児童の内容13、14、15では、「A評価」をつけた児童の数が増加しました。すべての児童が一人で悩みを抱える状況を生まないように、今後も信頼関係の構築に努めます。

また、児童の内容8から、タブレット等のICT機器の活用によって、児童が楽しく学習に取り組めるようになってきたことが読み取れます。こうした学習形態の工夫をとおして、「求めてはげむ」児童の育成を進めていきたいと思えます。その一方で、保護者の内容10では「A評価+B評価」の割合はほとんど変化がないものの、「A評価」だけを比較すると、大きく減少しています。これは、これまで行ってきた「はげみ学習」に比べ、タブレット等のICT機器を活用した学習形態について、保護者の皆様への情報発信が十分でなかったことの表れだと考えます。学校だよりや学級通信をとおして、子供たちの活動をきちんと紹介し、更なるご理解を得られるようにしていきたいと思えます。

同様に、保護者の内容2についても「A評価」の割合の減少が目立つ結果となりました。これについては、今回の学校診断アンケートや学校評議員会などの機会をとらえ、保護者の皆様や学区の方から広くご意見を聞き、教育活動に反映させていきたいと考えます。

## 【保護者の皆様からいただいたご意見から】

- 学校での行事で休みが取れるのは月1回くらいが限度なので、同じ月に行事が重なると困る。(3年)  
→一昨年度以降、新型コロナウイルスの影響による行事の延期等があり、保護者の皆様にもご迷惑をおかけしております。感染対策等のためにやむを得ず変更する場合を除き、できる限り保護者の皆様のご負担を軽減したいと考えております。計画の段階で無理のないように立案していきますので、引き続きご理解、ご協力をお願いします。
- 子供の運動会での姿は見たいけど参加はしたくないので、今年のような形がずっと続くといいなと思う。(3年)  
→現在、無理なく継続できる行事運営法について、学校と社会教育委員会とが中心となって検討を進めています。具体的な案ができましたら、皆様にお示しします。
- 通学路のそうじのときにもらえるジュースはいらないので、お金を大切に使ってください。(3年)  
→貴重なご意見、ありがとうございます。貴重な会費ですので、これまで以上に有効活用し、教育の質の向上に努めてまいります。
- はげみ(検定)がなくなってしまったため、復習する時間が減ってしまって残念です。仕方のないことだと思っていますが……(3年)  
→本校でもはげみに代わる取り組みを進め、学力の定着を図っていきますが、学力を定着させるためにはご家庭における協力も必要だと考えます。ご負担をおかけすることもあります。家庭学習の充実にご理解、ご協力下さい。
- 毎日楽しそうに学校での出来事を話してくれます。いつもありがとうございます。(1年)
- 担任の先生だけでなく、学区の先生全員が子供の名前を覚え、理解して対応していただけることに感謝しています。(1年)
- 楽しい学校生活をありがとうございます。毎日帰ってくると、「今日のグッドニュースはね……」と楽しかったことや、先生や友達のいいところをたくさん教えてください。コロナ禍の苦労も多いかと思いますが、子供たちにとっても、先生方にとってもグッドニュースあふれる学校であり続けてほしいと願っています。(2年)
- 校長先生のお便りは毎週楽しみに読んでいます。校舎がきれいになるのが楽しみです。(3年)
- 毎日ホームページを見るのを楽しみにしています。高学年では、こんな学習をするんだなと親が理解できるのも助かっています。(3年)
- いつもありがとうございます。(3年)
- 交通当番ですが、早朝にもかかわらず学校職員の枠を設けてくださり、保護者の負担を減らしてくださっていること、感謝しています。ありがとうございます。(5年)
- 学校での出来事を楽しそうに話してくれます。いつもありがとうございます。(6年)
- 先生とも相談などやすく、いつも助けていただいています。ありがとうございます。(6年)  
→子供たちが学校生活を楽しんでいるという報告や学校に対する励ましのお言葉、ありがとうございます。ご意見の中にもあるような、子供たちにとっても、先生方にとってもグッドニュースあふれる学校であり続けられるよう、職員一同努力してまいります。今後とも、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。